平成22年2月19日 開会・閉会

平成22年2月

富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録

富山地区広域圏事務組合議会

本定例会に付議された議案件名

議案第1号	平成22年度富山地区広域圏事務組合一般会計予算
議案第2号	平成22年度富山地区広域圏事務組合清掃事業特別会計予算
議案第3号	平成22年度富山地区広域圏事務組合廃棄物発電事業特別会計予算
議案第4号	平成21年度富山地区広域圏事務組合清掃事業特別会計補正予算（第1号）
議案第5号	富山地区広域圏事務組合職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
議案第6号	富山地区広域圏事務組合監査委員の選任に関し同意を求める件

平成22年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録 目 次

全	号（2月19日）	
議 事 日 程		1
本日の会議に付した事件		1
出・欠席議員の氏名		2
説明のため出席した者		3
職務のため議場に出席した職員		3
開	会	 4
開	議	 4
議 席 の 指 定		4
会議録署名議員の指名		4
会 期 の 決 定		5
提案理由の説明		5
議案の質疑・討論・採決		9
理事長あいさつ		10
閉	会	 10

議 事 日 程

平成22年2月19日(金)
午後4時15分 開議

- 第1 議席の指定
 - 第2 会議録署名議員の指名
 - 第3 会期決定の件
 - 第4 議案第1号、議案第2号、議案第3号
議案第4号、議案第5号、議案第6号
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議席の指定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期決定の件
- 日程第4 議案第1号、議案第2号、議案第3号
議案第4号、議案第5号、議案第6号

出席議員（17人）

1	番	村	石		篤
2	番	佐	藤	康	弘
3	番	金	厚	有	豊
4	番	高	田	重	信
5	番	浅	生	幸	子
6	番	吉	田		勉
7	番	中	川		勲
8	番	窪	田	一	誠
9	番	田	中	義	明
10	番	笹	木	豊	一
11	番	竹	島	ユ	子
12	番	平	井	リ	子
13	番	島	田	妙	男
14	番	砂	子 阪	幸	夫
15	番	柞	山	和	男
16	番	砂	原	数	孝
17	番	五	本	幸	正

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

理事	長	森		雅	志
副理事	長	舟	橋	貴	之
理事	事	坪	川	宗	嗣 <small>(産業民生部長)</small>
	(代)	利	田		忠 <small>(副町長)</small>
	(代)	金	森	勝	雄
理事	事	辻		勤	治
事務局長	局長	塩	原	喜	和
会計管理	者	岩	木	一	則
事務局	参事	中	田	貴	保
事務局	次長	杉	原	賢	治
クリーンセンター	所長	松	井	芳	隆
リサイクルセンター	所長	小	河	光	夫
施設整備室	長				

職務のため議場に参加した職員

事務局主幹	平	野	雅	憲
クリーンセンター所長代理	平	林	富	光
クリーンセンター主幹	深	川	幸	盛
事務局副主幹	原	田	陽	子

◇ ◇ ◇
—— 開 会 ——
午後4時15分 開会

○議長（五本幸正 君）

ただいまから、平成22年2月 富山地区広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

◇ ◇ ◇
—— 開 議 ——
午後4時15分 開議

○議長（五本幸正 君）

本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

◇ ◇ ◇
—— 議 席 の 指 定 ——

○議長（五本幸正 君）

これより、日程第1 議席の指定を行います。

今回新たに当選されました滑川市選出の 中川 勲さん、同じく 砂原 孝さん、立山町選出の 窪田 一誠さん、同じく 佐藤 康弘さんの議席は、会議規則第4条第2項の規定により、議長において、お手元に配布してあります新議員名簿のとおり指定いたします。

◇ ◇ ◇
—— 会 議 録 署 名 議 員 の 指 名 ——

次に日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則、第96条の規定により、会期中の会議録署名議員に3番 金厚有豊さん、9番 田中 義明さん、15番 柞山 数男さんを指名いたします。

◇ ◇ ◇
—— 会 期 の 決 定 ——

○議長（五本幸正 君）

次に、日程第3 会期決定の件を議題といたします。

おはかりします。

本定例会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と叫ぶ者あり）

○議長（五本幸正 君）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 提 案 理 由 の 説 明 ——

○議長（五本幸正 君）

次に、日程第4 議案第1号から議案第6号を一括議題といたします。

理事長から提案理由の説明を求めます。

（理事長 森 雅志君 登壇）

○理事長（森 雅志 君）

平成22年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会の開会にあたり、提出しました案件の概要につきましてご説明申し上げます。

今日、少子高齢化及び人口減少という社会構造の大きな変化に加え、国内の失業率が高水準にあるなど、地方自治体を取り巻く行財政環境は、依然として厳しいものとなっております。

一方、地方分権が進展し、住民の価値観やニーズが多様化する中、地方が自立し、住民一人ひとりが誇りと愛着を持つことができる「地域社会」を創造していくため、地方自治体が担う責任と役割は一層高まってきており、中でも「住民との連携による自主的で魅力ある地域づくり」と「簡素で効率的な行財政システムの確立」が強く求められております。

また、地球温暖化をはじめとする環境問題は、人々の日々の活動が大きく関係しており、その影響は、私たちだけでなく、未来の子供たちまで及ぶこととなります。

安心して暮らせる地球環境を将来に引き継いでいくため、これまで以上に、住民、事業者、行政が、連携・協力し、環境に対する負担をできるだけ小さくする「資源循環型社会」の形成に向けた取り組みを行う必要があります。

このため、富山地区広域圏では、徹底した事務事業の見直しにより経費節減に努め、健全な組合運営を図るとともに、環境面においても、構成市町村と連携を図りながら、一層の廃棄物の減容化・再資源化などに取り組んでまいる所存であります。

皆様方のさらなるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、ごみの減量化やリサイクルの状況について申し上げます。

廃棄物の処理にあたりましては、国においては、廃棄物の発生の抑制、再使用、再資源化の促進を図るための「循環型社会形成推進基本法」を中心とし、リサイクルによる資源有効利用の促進の方策を規定する「資源有効利用促進法」をはじめ、容器包装、家電、自動車といった各種リサイクル法が整備され、その推進が図られてきております。

このため、構成市町村においては、「空きびん・空き缶、ペットボトル」の分別回収や、「レジ袋の削減」などについて努力されているところであり、引き続き、ごみの分別、減量化に格段のご配慮とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当広域圏といたしましても、構成市町村と十分連携をとりながら、循環型の地域づくりを目指して、廃棄物の減量化・再資源化に積極的に取り組んでまいる所存であります。

次に、クリーンセンターについて申し上げます。

可燃ごみの焼却処理については、ダイオキシンなどの環境汚染物の発生を抑制し、焼却灰の無害化・減容化を図るなど、安全面と衛生面に万全の配慮をした施設運営に努めるとともに、焼却熱を利用した発電等により、循環型社会の形成に寄与しながら経費の節減にも努めております。

また、クリーンセンターは稼働以来8年目に入り、施設や設備の経年化が進んできておりますが、効率的な更新整備や保安全管理に努めてまいりたいと考えております。

溶融スラグについては、構成市町村の協力を得ながら道路の舗装材などへの有効利用を図っておりますが、今後もこの取り組みを継続し、埋立処分量の削減と、最終処分場の延命化に努めてまいりたいと考えております。

次に、リサイクルセンターについて申し上げます。

リサイクルセンターは、平成17年3月の新施設の竣工からほぼ5年が経過しましたが、その間、大きなトラブルもなく順調に稼動しているところであります。

また、併設するリサイクルプラザでは、不要となった自転車や家具などのリサイクルを通じて再利用の促進、並びに廃棄物の抑制に努めております。

今後、リサイクルセンターについても、経年による施設・設備の修繕等が見込まれますが、計画的で適切な維持管理を行い、効率的で安全な施設運営に努めてまいりたいと考えております。

次に、常願寺ハイツスポーツ公園について申し上げます。

中核施設となる「常願寺ハイツ」は、指定管理者制度の導入により、スポーツ指導のスタッフも充実し、会員数も年々増加しております。また、隣接する「さわやかスポーツ広場」は、少年サッカーや地域で行うレクリエーションなど、団体での利用のほか、散歩、ジョギング、家族連れでの軽スポーツなどを楽しむ方も増えてきております。

今後とも、指定管理者と連携を図りながら、より多くの方が気軽に利用できる健康増進施設に努めてまいりたいと考えております。

次に、最終処分場について申し上げます。

当広域圏の新たな最終処分場の建設については、昨年1月に「最終処分場評価検討委員会」から、専門的な観点から検討した報告書の提出を受けたところであります。

この報告書の提出を受け、当事務組合では、構成市町村の副市町村長で構成する「廃棄物処理施設整備計画検討委員会」において、今日の廃棄物を取り巻く環境の変化を踏まえ、検討しているところであります。

今後、この検討委員会の報告を受けて、理事会において協議を行うとともに、議会のご意見等をお聴きしながら、最終処分場の建設について判断することにしております。

次に、提出しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

平成22年度の会計別予算規模は、

一般会計	8千640万余円
(対前年度 当初予算比	2.2パーセント増)
清掃事業特別会計	44億2千611万余円
(対前年度 当初予算比	2.5パーセント減)

廃棄物発電事業特別会計 5億 260万余円
(対前年度 当初予算比 2.2パーセント減)
総額 50億1千512万余円
(対前年度 当初予算比 2.4パーセント減)

を計上しており、予算編成にあたりましては、歳入の確保と経費の節減を図り、構成市町村の負担の軽減に配慮したところであります。

まず、一般会計では、議会費として、151万余円、事務局費として、3千482万余円、衛生費として、3千503万余円、常願寺ハイツスポーツ公園の維持管理費として、1千402万余円を計上しております。

これらに要する財源としては、構成市町村の負担金、県支出金、繰越金等を充てております。

次に、清掃事業特別会計では、ごみ処理事業費については、ごみ処理施設の維持管理費、ごみ焼却炉や灰溶融炉の運転業務に要する経費、計量器増設にかかる経費など、13億8千780万余円を計上しております。

ごみ処理施設建設事業費については、一般廃棄物処理施設整備 基金にかかる経費など、794万余円を計上しております。

リサイクル事業費については、リサイクルセンター施設の維持管理やリサイクル活動推進費、容器包装廃棄物の中間処理に要する経費など、7億3千045万余円を計上しております。

また、公債費として、新ごみ処理施設整備に係る組合債の元利償還金、22億9千490万余円を計上しております。

これらの財源としては、構成市町村の負担金、ごみ処理手数料、資源物の売り払い収入、繰越金等を充てております。

次に、廃棄物発電事業特別会計では、廃棄物発電事業費として、廃棄物発電に係る施設の維持管理に要する経費 2億3千152万余円を、また、公債費として、廃棄物発電施設整備に係る組合債の元利償還金 2億7千107万余円を計上しております。

これらの財源としては、構成市町村の負担金、電気の売払い収入を充てております。

次に、平成21年度清掃事業特別会計予算の補正についてご説明申し上げます。

清掃事業特別会計のリサイクル事業費において、リサイクルの合理化・効率化が図られた場合に、その成果に対して市町村へ拠出金が支払われる「合理化拠出金」の制度が創設されたこと等に伴い、構成市町村に対するリサイクル報償金を増額する補正を行うものであります。

次に、予算以外の案件について、ご説明申し上げます。

条例案件については、「富山地区広域圏事務組合職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例」を制定するものであります。

また、人事案件については、富山地区広域圏事務組合監査委員の選任に関し同意を求めるものであります。

以上が、今回提出しました案件の概要であります。

なにとぞ、慎重審議のうえ、適正な議決をいただきますようお願い申し上げます。

◇ ◇ ◇
————— 議案の質疑・討論・採決 —————

○議長（五本幸正 君）

これより、

議案第1号	平成22年度	富山地区広域圏事務組合	一般会計予算
議案第2号	平成22年度	富山地区広域圏事務組合	清掃事業特別会計予算
議案第3号	平成22年度	富山地区広域圏事務組合	廃棄物発電事業特別会計予算
議案第4号	平成21年度	富山地区広域圏事務組合	清掃事業特別会計補正予算（第1号）
議案第5号	富山地区広域圏事務組合職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定の件		
議案第6号	富山地区広域圏事務組合監査委員の選任に関し同意を求める件		

以上6件を一括して質疑に入ります。

質疑はありませんか。 質疑なしと認めます。

○議長（五本幸正 君）

これより、議案第1号から議案第6号まで、以上6件を一括して討論に入ります。

討論はありませんか。 討論なしと認めます。

○議長（五本幸正 君）

これより、議案第1号から議案第6号、以上6件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。
（「異議なし」と叫ぶ者あり）

○議長（五本幸正 君）

ご異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案可決・同意されました。

以上で、本定例会に付議された案件は、すべて終了いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 理 事 長 あ い さ つ ——

○理事長（森 雅志 君）

議員各位には、市町村議会開会前のたいへんお忙しい中、富山地区広域圏事務組合2月定例会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、ただいま提出いたしました案件につきまして、議決をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、時節柄、まだまだ寒暖の差が激しい日々が続いてまいります。

議員各位には、健康に十分ご留意されますとともに、今後とも、当広域圏発展のため、ご尽力賜りますようお願い申し上げます、閉会のあいさつといたします。

◇ ◇ ◇
—— 閉 会 ——

○議長（五本幸正 君）

平成22年2月 富山地区広域圏事務組合議会 定例会を閉会いたします。

午後4時30分 閉会